



聴覚に障害のある子どもへの指導・支援

Q.式典(入学式・卒業式)では、どのようなことに留意点すればよいですか？

A.「普段通りの支援」+ α の支援があると、難聴児童生徒も安心して参加できます。

1. 普段通りの支援について

①座席の配慮

- ・スピーカーの近くなど、ききとりやすい座席の位置にする。
- ・話し手(司会や卒業生代表)の口元が見える位置にする。
- ・全体の動きが見えやすい位置にする。

②話し方の配慮

- ・口元を見せて話す。
- ・言葉のリズムを崩さずゆっくり、はっきり話す。



2. + α の支援について

①視覚的な情報を提示する

- ・式次第や、読み原稿などを事前に渡しておく。
- ・急な変更などの連絡があった時には、メモなどで状況を伝える。

②補聴援助システム(ロジャーマイク、ミニマイクロホン等)の活用

- ア. 話し手(司会・呼名・式辞・送辞・答辞などの担当者)がリレー方式で補聴援助システムのマイクをつないで話す。
- イ. スピーカーに補聴援助システムのマイクを向ける。
- ウ. 音響機器の出力ラインに、附属のコードで補聴援助システムのマイクを接続する。



補聴援助システムのマイクの例

ウ. 音響機器に接続する



ア. 話し手が使用する話していないときは
ミュートに切り替える。



イ. スピーカーにマイクを向ける

- ・児童・生徒本人がききたい音の方向(スピーカー等に補聴援助システムのマイクを向ける。
- ・床置きスピーカーに、マイクスタンドで補聴援助システムのマイクを向ける。